

## 次号予告

### 特集 CIM要素技術の最前線

#### CIM構築のモデル

………福田好朗(機械振興協会技術研究所)

#### 生産機能を持つ生産システム・シミュレータ

………梅田茂樹(日本IBM)

#### 物と情報の流れの待ち行列網モデル

………米田 清(東芝)

#### エキスパート・システムを用いた

#### 生産スケジューリング

………山中止志郎(日立製作所), 他

#### 連載講座

#### ファイナンス理論とその応用(5)

………C. Huang, 浦谷 規

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサービス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

**編集後記**●今月は、「雇用の変化と21世紀への対応」というテーマで特集を組んでみました。昔は、10年ひと昔と言われていましたが、昨今では、3年ひと昔と言われており、世の中の変化のは、まさに、目の回るような忙しさになっています。ついこのあいだまでは、「アメリカでは、企業の売買があたかも物を売買するように行なわれている」というのを聞いて、ずいぶんすごいことをするものだと感じたのを覚えています。「日本人はウエットだから、なかなかそこまで行かないだろう」というようなことを述べる人もいたように記憶していますが、今日では、もはやそのようなことは当り前になっており、誰も驚く人はいません。このような中で、雇用の関係がどんどん変わっていくのを皆さんは肌で感じておられるのではないのでしょうか? ●ところで、最近、過労死の問題が大きくクローズアップされています。皆さんのまわりでも、猛烈に忙しい人たちがたくさんいらっしゃると思います。あるいは、これを読まれている方ご自身がそうかも知れません。その忙しさですが、2種類あるよ

うに思います。つまり、能動態で忙しい場合と、受動態で忙しい場合です。どちらが(精神的にも肉体的にも)良いかとなると、前者、つまり、能動態でしょう。今後伸びる組織というのは、能動的に仕事をクリエイトできる人が増えるような仕組みを考え出せる組織ではないでしょうか? しかし、能動態が良いと言っても、人間は機械ではありませんから、24時間働けるわけはありません。その意味では、余暇の仕組みも、今後ますます重要になるでしょう。

●編集委員の川野幸三郎氏は、体調を崩され、ご療養中のところ12月逝去されました。同氏は編集委員だけでなく、長年多方面にわたってORおよびOR学会の発展に寄与されました。編集委員一同、謹んで同氏のご冥福をお祈りいたします (大村雄史)

### 12月 会合記録

12月7日(金)	研究小委員会	2名
12月12日(水)	表彰委員会	6名
12月13日(木)	編集委員会	10名

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成3年2月号 第36巻 第2号 通巻362号

代表者 岡 久雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代)FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円,郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3548-1337)、日経弘報社(3583-2241)へ